

日中友好新聞

府連通信

2012年8月号
 日本中国友好協会大阪府連合会
 〒530-0013
 大阪市北区茶屋町10-6
 阪急北ビル4階
 TEL06-6372-8131
 050-3413-6491
 FAX06-6372-8132
 郵便振替口座
 00970-5-8978
 E-mail:jcfa@jst8.so-net.ne.jp
 ホームページ
[http://www005.jp/pp.so-net.ne.jp/jcfaosaka/](http://www005.jp.pp.so-net.ne.jp/jcfaosaka/)

中国脅威論とどう向き合うか

残留孤児・配偶者支援署名を

七月に開かれた本部常任理事会では本部参与の平井潤一さんから「中国は脅威か？」のテーマで問題提起がありました。

①「中国脅威論」は今、どのような形で、どのように広がっているか ②「中国脅威論」に立ち向かうことなしに日中友好運動の前進なし ③本当に「脅

威」なのか、まず自分の日常生活のなかで「中国」を見つめ直そう。④経済的結びつきや、人かされるのか ⑤「中国脅威論」はなぜ振りまかれるのか ⑥「草の根」の民衆の往来・文化交流などの現状は

どうか。日本にとって「中国」は最大の貿易相手、「中国」なしには日本経済は成り立たない。観光旅行はじめ相手国への、相互訪問人数も拡大の流れ。

互訪問人数も拡大の流れ。観光旅行はじめ相手国への、相互訪問人数も拡大の流れ。観光旅行はじめ相手国への、相互訪問人数も拡大の流れ。

山本副会長の中国経済トピックスを連載



山本恒人さん
 今年七月、副会長に選出されました。

山本恒人さんは一九四三年北京生まれ、引き揚げ組。三一年間、大学で中国経済論を担当、定年退職後は特任教員としても暫く教壇に。十八歳で日中友好協会会員に、長い中断の後、会に復帰され、今号から五回にわたり、中国経済トピックスを連載されます。

中国経済トピックス① 副会長 山本恒人 経済成長・鈍化傾向の実態は

本年第二四半期（四から六

月期）の経済成長率七、六%増と、四半期連続六回下がり、三年ぶりに八%を切りました。経済成長の鈍化傾向です。

2008年の世界同時不況時には六、九%まで落ち込んだのですから、中国にとつて今度のヨーロッパ金融危機による影響はやはり大きいようです。中央政府は昨年末から、インフレおよびバブル対応の金融引き締め政策を緩め、経済成長に軸足を移すと宣言、都合三回の預金準備率引き下げ、二回の金利引き下げを行い、市場への資金供給を増やして景気対策強化に努めている

認可スピード化や省エネ関連材料への企業向け財政補助、省エネ関連家電への家計向け財政補助などを行なっています。他方、市場や地方政府からの不動産引き締め政策への解除圧力には慎重な姿勢を崩していません。世界経済が不安定基調にあっても、インフレやバブルを抑え込みながら経済成長は確保しようとする「ソフトランディング（軟着陆）」路線は、秋の共産党大会までに何とか定着させたい

ところなのでしよう。従来のように、思い切った投資（公共投資や企業の投資）拡大で乗り切るという方策に流れてしまわないのは、賢明なことかもしれません。先進国などと比べますと、中国のGDPの構造は投資依存に極端に偏ったもので、逆に民間最終消費の割合は極めて小さなものです。《『季刊中国』No.九六・二五ページに図示》

したがって、投資拡大で増えた生産物は国内ではなく、輸出に依存せざるをえなくなるのです。これが華々しい経済成長と世界一の外貨準備とをもたらしませんでした。しかし、頼みの先進国需要がここまで冷え込んでしまえば、そのようなパターンで持続的成長をはかるのはとても無理だということになります。

そのようなパターンで持続的成長をはかるのはとても無理だということになります。

中国からの引き揚げ漫画展

10/11(木)～16(火) 10時～18時・11日は13時～
 梅田・芝田町画廊・資料代500円 16日は15時まで

戦争を体験し、日本に引き揚げてきた、少年達の目に映った、中国の人々や風景、戦争直後の日本の様子が描かれています。



きりえコンクール秀作品巡回展

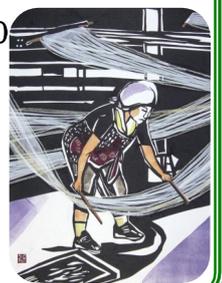
8/17(金)～26(日) 13:00～17:00

8/20(月)21(火)は休館

8/26(日)は16:00まで

会場：大阪きりえセンター
 北区天神橋1-19-15・大証ビル205

主催：日中友好協会大阪府連合会



大阪府連創立60周年記念

南京・揚州・鎮江・上海・平和の旅

十一月十六日(二十日、日中も行きま。そして大阪と友好大阪府連創立六十周年を記念し姉妹都市で経済発展も著しく、「南京・揚州・鎮江・上海」高層ビルが立ち並ぶ、近代的な平和の旅を実施いたします。国際都市・上海を訪れます。

河村名古屋市長発言にみられる、南京虐殺を否定する反動的な動きのあるなかで、改めて侵略戦争で日本軍部が行った、中国国民への残虐行為の事実を、現地で学ぶことは重要です。

今回は鑑真和上にゆかりのある揚州に



鑑真で有名な大明寺

旅行代金：134000円
 燃油・諸税など17000円
 全行程添乗員同行
 11/16(金) 関空発南京へ
 11/18(日) 揚州・鎮江
 11/20(火) 上海発関空へ

ぜひ多くの方が、参加されますようお願い申し上げます。

太極拳富田林教室・初の三級審査

西支部の尾中老師率いる富田林教室は、振り返れば五年の月日が流れました。なんとなく始めてここまで来た受講生も気持ち



五年の成果ハイポーズ



今日まで、ひたすら練習してきました。審査が終わってホッと一息、攪雀尾のポーズです。表情にも余裕が見られます。その後、受験者全員の三級合格が発表され全員で拍手……！入門の三名も揃って修了証が手渡されました

(この記事はブログ「大阪西・太極拳教室写真集」からの転載です)

六六年ぶりに長春公園で墓参

牡丹江から逃避行中に妹亡くなる

拝啓 母上様 此度、日中生命。死因は食べ物も無く栄友好協会大阪西支部「中国東義失調。牡丹江から背に負わ北部への平和を求めての旅」れ逃避行途中、ハルビンから同行させて頂きました。永新(現、長春)へ、この地い間、吉子(妹・次女)の埋で死す迄幼児の泣き声を一声葬場所を自分の目で確かめても聞いたことがなく、重湯をいらない。五人の子供の内、中 Spoon で口元にもついでいくの三人を先立たせたが、特にと、小さな口唇を動かし吸った吉子のこととは気になつており、ていた。その口唇の動きだけそのことが生涯残り心と心を私の記憶に残っております。痛め、幾度となく独り言を聞いた嚴寒の朝(零下三〇度程かされてきました。此度多くか?)、木造三階の古い建物の方の善意に支えられてその場所「長春公園(日本人墓地)」横に取り付けられていた、鉄を漸く訪れることが出来まし骨づくりの階段を踏み滑らな

た。謹んで報告申し上げます。い様、二人で吉子の遺体を入母上様がいつも左手首に付れた「みかん箱」を抱え、一歩一歩ゆつくり下りて行くと、若木の根っこにそおと埋め門の外に日本人難民会の「おてきました。吉子の御霊に届じさん」がリヤカーを用意し



公園で手を合わせる

苦勞して引張つてした。吉子もその犠牲者の1人です。(五月に西支部・平和の間見送つておりました。浩さんからのた。向かい側の建物の角を左に折れ、リヤカーと「みかん箱」が見えなくなつた瞬間、その場面は今でも脳裡に焼き付いて



長春公園入口

おります。その日は中国内戦が始まり、中共八路軍と国府軍との市街戦が激化、銃弾が飛び交い、一般

民間人はとても道路に出られない状況ではありませんでした。母上様と約束したわけではありませんが、私の胸中に奥深く有った思いが六六年振りにも果たせ、痞(つかえ)がおりました。七二才に成る迄、これほど私一人の為に御力添えを頂き善意を受けたことはありませ